第１学年　社会科　１年間の学習と評価について

春日部市立豊春中学校

１．学習目標

【１学年】

（地理）　それぞれの写真について知っていることをノートに書き出し、地図帳の索引を引いたり、白地図に書き込んだりするなど、地名知識を身につける手法に触れることができる。

（歴史）　中学校の歴史学習の導入として、歴史に対する興味・関心や歴史を学ぶ意欲を高めることができる。

【２学年】

（地理）　さまざまな地域から成り立っている日本や世界の諸地域を、比較し関連づけて考えながら、それらの地域が相互に関係しあっていることや各地域の特殊性や共通性があることを理解することができる。

（歴史）　近世から明治時代にかけて日本の近代化の流れをつかみ、日本の文化について、理解することができる。

【３学年】

（歴史）　二度の世界大戦による厳しい戦時下の生活から現在の日本を比較して、国民としての自覚を持つことができる。

（公民）　日本国憲法の基本的原則を具体的な生活とのかかわりからとらえさせ、自由・権利と責任・義務の関係を社会生活の基本として認識することができる。

　経済が社会生活と密接なかかわりを持ち、人間生活の維持・向上にとって欠かせないものであるといった経済活動の意義を身近な消費生活を通して理解することができる。

２．年間の授業計画と学習のねらい

学期	学習内容	学習のねらい
１学期	【地理】 ・世界の姿 ・日本の姿 ・世界各地の人々の生活と環境 【歴史】 ・歴史のとらえる見方・考え方 ・古代までの日本	・小学校社会科、テレビや本などを通して身につけた世界の国々・日本の都道府県に関する興味・関心および知識を整理し、「どれだけ知っているのか」ノートや白地図を使って確認する。 ・景観写真や各種の地図、統計資料などから、情報を引き出す技能を身につける。 ・都道府県の名称の由来や成り立ち、境界線について調べる活動を通して、現在に残る昔の地名や旧国名への関心を高める。 ・新しい遺物や遺跡の発見などの具体的な事例を通して、この時期の人々の生活に関心を持つ。
２学期	【地理】 ・世界の諸地域 【歴史】 ・古代までの日本	・縮尺の大きな地図を、土地利用や地形などに着目しながら読み取り、自分たちの身近な地域に関するさまざまな地理的事象に気づく。 ・大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ，その後，天皇・貴族の政治が展開されたことを理解する。
３学期	【歴史】 ・中世の日本	・武家政権の成立の流れを調べ、関東鎌倉に幕府が開かれたこと及び、幕府の支配体制について理解する。 ・鎌倉新仏教や農耕文化の進化について、調べ、理解するとともに、鎌倉幕府と室町時代の相違を探し、まとめることができる。 ・農業技術や手工業・商業の発達による生活の向上がもたらした社会の変化について考える。

３．評価の観点と方法

《主体的に社会事象についての学習に取り組む態度》

◇積極的に発表したり、意欲的に授業に取り組んでいるか。世の中の動きに関心を持っているか。ノートやワークなどの提出状況などをみていきます。また場合によっては、テストにてこの観点の出題をすることがあります（最近の時事など）。

《社会的な思考・判断・表現》

◇なぜそうなるのか、どのようなことが考えられるのかなど、社会のことについて、さまざまな視点から考えることができるか。ノートの内容などをみていきます。また、テストにてこの観点の出題をします。

《社会事象についての知識・資料活用の技能》

◇地図やグラフ、歴史資料、新聞など資料の読み取りができるか。新聞やレポートなどのまとめ方や発表のやり方はどうかなどをみていきます。また、テストにてこの観点の出題をします。

◇小テストや中間・期末テストにて判断します。この観点の出題をテストでは多くします。